

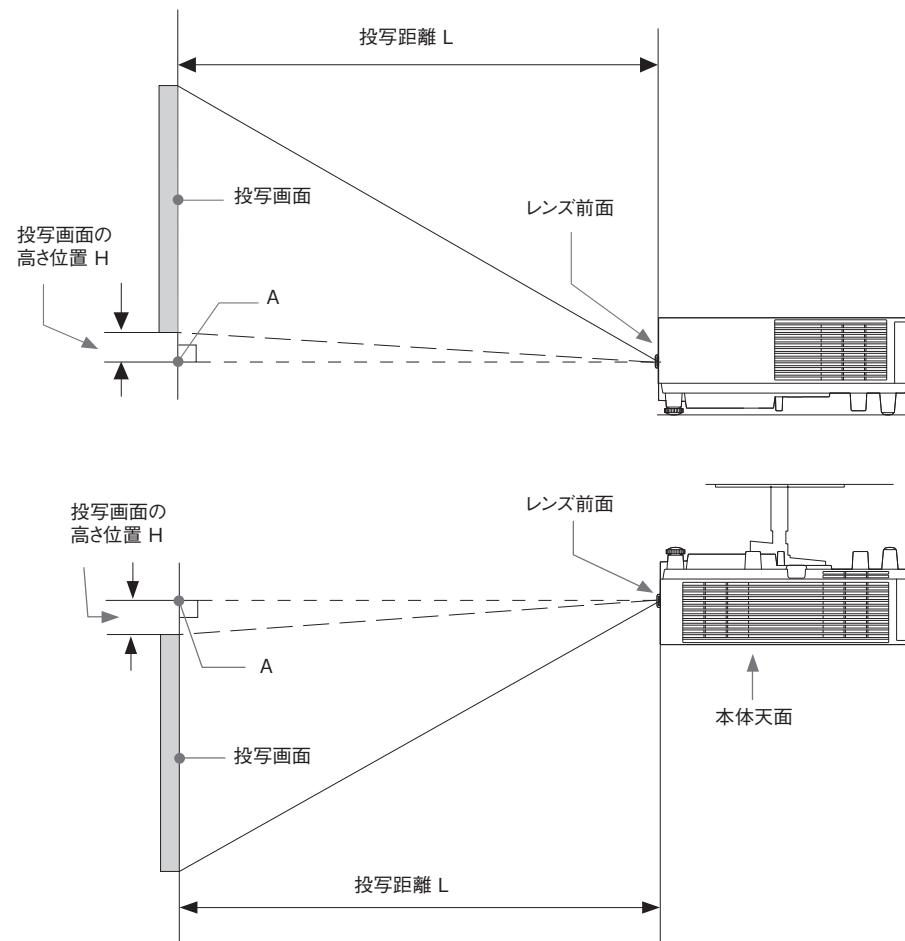
VPL-PHZ61 / VPL-PHZ51 投写距離とレンズシフト量

投写距離は、レンズ前面から投写面までの距離です。

投写画面の高さは、レンズ中心から投写する面に対して垂直に引いた線と投写する面が交差する位置（図中A）から投写画面の下端（天井設置時は上端）までの距離です。

このプロジェクターの場合、床置き設置時と天井設置時の投写距離表の値は同じです。

床置き設置時／天井設置時（プロジェクターの天面が天井と平行になるように設置）



投写距離表／投写距離計算式

投写距離表

単位：m

画面サイズ		投写距離 L	投写画面の高さ位置 H	
対角 D	横×縦		最短	最長
80型(2.03m)	1.72×1.08	2.12–3.39	-0.91	0.05
100型(2.54m)	2.15×1.35	2.65–4.24	-1.14	0.06
120型(3.05m)	2.58×1.62	3.18–5.09	-1.37	0.08
150型(3.81m)	3.23×2.02	3.98–6.36	-1.71	0.10
200型(5.08m)	4.31×2.69	5.30–8.48	-2.28	0.13

投写距離計算式

D：画面サイズ(型) 例) 画面サイズが80型の場合は、Dには80を入れる。

H：レンズ中心からスクリーン下端までの高さ

計算式1

単位：m

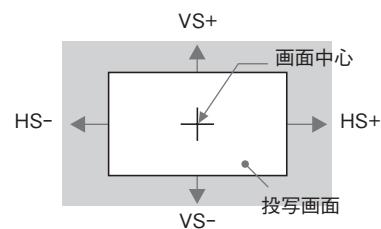
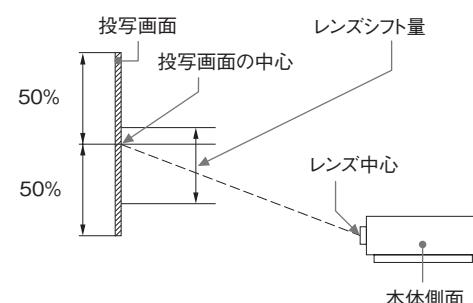
投写距離L(最短)	投写距離L(最長)
$L=0.026483 \times D + 0.0001$	$L=0.042417 \times D + 0.0000$

計算式2

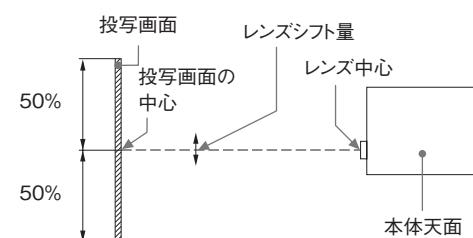
投写画面の高さ位置 H	
投写距離L(最短)	投写距離L(最長)
$H=-0.011443 \times D$	$H=0.000673 \times D$

レンズシフト量

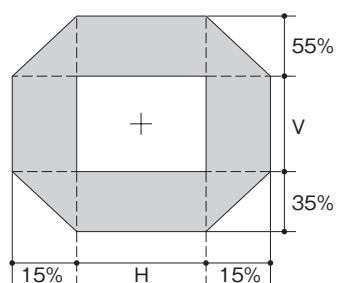
レンズシフト量は初期投写位置からどれくらい動かせるかを投写画面の「全高」または「全幅」を100%とし、その距離をパーセントで表します。



網掛け：移動できる範囲



VS+ : 垂直レンズシフト量(上) [%]
 VS- : 垂直レンズシフト量(下) [%]
 HS+ : 水平レンズシフト量(右) [%]
 HS- : 水平レンズシフト量(左) [%]



VS+ : 垂直レンズシフト量(上) [%]
 VS- : 垂直レンズシフト量(下) [%]
 HS+ : 水平レンズシフト量(右) [%]
 HS- : 水平レンズシフト量(左) [%]
 $VS+[\%]=55-3.667 \times (HS+[\%]\text{ or }HS-[\%])$
 $VS-[\%]=35-2.333 \times (HS+[\%]\text{ or }HS-[\%])$
 $HS+[\%]=HS-[\%]=15-0.273 \times (VS+[\%])$
 $HS+[\%]=HS-[\%]=15-0.429 \times (VS-[\%])$

$$VS+ = 55 [\%]$$

$$VS- = 35 [\%]$$

$$HS+ = HS- = 15 [\%]$$